

2022年度 環境経営レポート

(対象期間:2022年4月~2023年3月)



®環境省

エコアクション21
認証番号0008727



よどまる

よどがわ市民生協の
マスコットキャラクター

contents

| | |
|---------------------------|----|
| 基本姿勢、環境経営方針、組織概要 | 2 |
| 2030年に向けたよどがわの環境政策 | 3 |
| 2022年度 とりくんだこと | 4 |
| エコアクション21 認証・登録、環境経営目標・実績 | 10 |
| とりくみ結果とその評価、次年度に向けて | 11 |
| 食品廃棄物再資源化実施率の内訳 | 12 |
| リサイクル回収実績 | 13 |
| 環境関連法規等の遵守状況、 | 14 |
| 代表者による全体の評価と見直し | |
| SDGs【持続可能な開発目標】とは？ | 15 |



大阪よどがわ市民生活協同組合

作成日:2023年6月8日

協同の力で、笑顔広がる豊なくらしを実現すること



基本姿勢

大阪よどがわ市民生活協同組合は、「よりよきくらしと平和のために」(1977年創立宣言)事業と運動をすすめる消費者の協同の組織です。私たちは、全国の生協の仲間と交流し連帯を強めます。組合員の声を第一に民主的運営をすすめます。核兵器や戦争のない平和でくらしやすい社会や地域づくりのために貢献します。

(2007年度第30回通常総代会)



環境経営方針

- ①基本方針** 大阪よどがわ市民生活協同組合は、組合員の皆さんに、日常消費物資を車両などを使用してお届けする宅配事業を基幹として、共済・福祉用具レンタル・くらし関連のサービスなど、生活に密着した事業を展開しています。一方、事業活動を展開する中で、様々な形で環境に負荷をかけています。私たちは、環境負荷の軽減のために環境目標を設定し、継続的改善にとりくみます。
- ②行動指針** 大阪よどがわ市民生活協同組合は、行動指針を次のように定め、目標達成をめざします。
 - 1** 環境関連法規制や当組合が約束したことを遵守します。
 - 2** 100%注文受注による商品供給という効率的な仕組みを活かし、環境に配慮した商品の普及、品質及び品質管理向上に努め、より一層食品廃棄物の削減に努めます。
 - 3** 地球温暖化防止と資源の有効活用・廃棄物の抑制と再資源化のために、電力・燃料等省エネルギー、節水に努めるとともに、グリーン購入を推進します。
 - 4** 業務の特徴を活かした社会貢献を推進し、環境をはじめとする自主的・自発的な組合員活動を広げます。
 - 5** 上記を実践するために職員への環境教育に取り組み、環境意識の向上をはかります。

制定日:2012年5月1日 大阪よどがわ市民生活協同組合
改定日:2021年4月20日 理事長 貫 恒夫



組織概要

①名称及び代表者名 大阪よどがわ市民生活協同組合
理事長 貫 恒夫

②所在地

- 本部 大阪府吹田市幸町4-1
- 第1支所 大阪府吹田市幸町4-1
- 第2支所 大阪府茨木市西太田町3-27
- 第3支所 大阪府豊中市原田南2丁目2-13
- 第5支所 大阪府茨木市横江2丁目6-23
- 第5別棟 大阪府茨木市横江2丁目8-39
- 日の出 大阪府吹田市駐 車 場 日の出町9-4



③環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責任者……………彦阪 浩司(人事総務部)
担当者……………羽根 仁志(人事総務部)
TEL……………06-6381-0329
ホームページ……https://www.yodogawa.coop

④事業内容

食品を中心とした生活基礎商品の宅配による供給事業
共済・福祉・各種サービス事業

⑤事業の規模:供給高(売上高) 約153億円

| | 本部 | 第1支所 | 第2支所 | 第3支所 | 第5支所 | 第5別棟 | 日の出駐車場 | 計 |
|------------------------|-------|------|-------|-------|-------|------|--------|-------|
| 正規職員数(人) | 69 | 5 | 31 | 14 | 16 | 0 | 0 | 135 |
| パート(人) | 48 | 5 | 8 | 3 | 8 | 0 | 0 | 72 |
| アルバイト(人) | 19 | 2 | 6 | 2 | 6 | 0 | 0 | 35 |
| 小計(人) | 136 | 12 | 45 | 19 | 30 | 0 | 0 | 242 |
| 延べ床面積(m ²) | 1,960 | | 1,162 | 1,450 | 1,952 | 614 | 30 | 7,168 |

※正規職員数に向向者数は含んでいません

2023年3月20日現在

⑥事業年度:

4月~3月





2030年に向けたよどがわの環境政策

2022年6月の第45回通常総代会で確認されました

大阪よどがわ市民生協の理念

「笑顔ひろがる 豊かなくらし」 食の安全 子どもの未来 地球環境 守りたい

1.なぜ大阪よどがわ市民生協は環境問題にとりくむのか

私たち大阪よどがわ市民生協（以下「よどがわ」）は、「笑顔ひろがる豊かなくらし」の実現を目指しています。

豊かな暮らしの前提として、平和であるとともに食の安全や子どもたちの未来につながる地球環境の保全が必要と考えています。



2.よどがわの環境政策の基本的な考え方

持続可能な社会の実現に向けて、様々な環境問題の中から次の3つの環境分野を重点的にとりくみます。

- ①「温室効果ガスの削減」
- ②「食品廃棄物、食品ロスの削減」
- ③「環境問題の啓発」

3.3つの環境分野での主な目標ととりくみ

①温室効果ガスの削減

自らの事業活動のエネルギー消費による温室効果ガス（CO₂）の排出を抑制するとともに、再生可能エネルギーの利用を積極的に行い、気候危機防止と省エネルギー推進にとりくみます。

【目標】2030年度までにCO₂の年間排出量を2013年度比で50%以上の削減をめざします。

【削減の取り組み】事務所や配送センターでは、空調や冷凍冷蔵機器、LED照明など、積極的に省エネ機器への更新を行います。また、次世代車両の開発動向に注視しながら、順次入れ替えをすすめます。

②食品廃棄物、食品ロスの削減

商品、特に食品を組合員にお届けする供給事業を行っているため、食品ロスの発生の抑制を行い、事業活動で発生する食品廃棄物の削減にとりくみます。

【目標】2030年度までに食品廃棄量を2013年度比で50%の削減をめざします。

【削減の取り組み】食品ロス・廃棄の実態を掴み、対策を行って食品ロスの発生を抑制します。発生分についても、こども食堂や地域団体への利活用を積極的に行います。

③環境問題の啓発

持続可能な社会を未来に残していくため、人と人とのつながりである協同組合として、組合員をはじめとするよどがわに関わる人たちとともに環境を考える活動にとりくみます。多くの組合員が環境問題に関心を持ち、行動・活動できる人を地域に広げます。

【目標】エシカル消費の推進を行い、利用組合員数2020年度比130%への引き上げ。また、情報公開と対話を行い、2030年度までに組合員アンケートでの環境の取り組み認知度を80%以上に引き上げます。

【具体的な取り組み】毎月の機関紙やホームページなどで、環境に関わることやエシカル消費・商品を掲載し、組合員への情報提供を行います。継続的な学習会及び実体験企画の開催および、他団体主催企画の積極的な広報をすすめる、環境関連の企画をより参加しやすいものとし、組合員の参加の機会を広げます。また、環境問題は永続的な課題のため、提携委託先をはじめとするよどがわに関わる人たちの育成もすすめます。



2022年度 めざしたこと

ありたい社会

地域とともに、だれひとり取り残さない、未来につながる社会。

ありたい地域

つながり、助け合いを大事にし、誰もが安心してらせる地域。

私のくらし

食と健康を大切に、自分らしいくらし。
※ここでいう「健康」とは、病気ではないことだけでなく、たとえ病気であっても人それぞれの元氣さやイキイキとした姿を意味しています。

～2022年度方針 4つの柱～

みんなが笑顔になる食やくらしを実現する事業をすすめます

食文化／つながり

「みんな」には、組合員だけでなく「生産者・取引先」「配送担当者」「その他関連関係先」も含まれます。日々のくらしや食を大切に、ひとり一人の組合員が生協に関わる事を通じて、笑顔になれる事業をめざします。

知りたい、学びたいを大切に、誰もが参加できる活動をすすめます

つながり

まずは「知ること」から学び、子育て、介護など家庭の事情で会場に足をはこぶ活動に参加できなかった方にもオンラインで「気軽に」「どこでも」「いつでも」誰もが参加できる活動をさらに広げます。

ありたい社会・地域づくりへの想いを広め、協同をすすめます

情報発信／つながり

生協の取り組みの価値や想いを地域に広げ、地域の様々な団体とも連携してありたい社会や地域づくりに向けての協同をすすめます。

持続可能で発展し続ける生協をめざして、将来に備えます

持続可能な事業

生活をささえる生協として、さらに事業を安定発展させ災害など不測の事態でも組合員の期待に応えられる生協をめざします。また環境や食品ロスなどのとりくみも強化します。

みんなが笑顔になる食やくらしを実現する事業をすすめます

1. 共同購入事業

コープきんきCM

10月に、よどがわ市民生協が独自に開発した商品である『タイ産バナナ』を、商品開発の経緯と併せてCMで紹介しました。



組合員の声を大切に、生協を通じて日々の豊かなくらしづくりをめざします

- 組合員が利用しやすい少量規格やお試し商品の品揃えを強化しました。さらに、生活の様々なシーンで工夫されていることなど、くらしに役立つ情報の共有を目的とした「生活の知恵を広げるアンケート」を実施し、ホームページや機関紙でとりくみを紹介しました。
- 毎週の配送を楽しみにしてもらえよう、配送担当者は商品の試食、生産地・製造工場へ研修訪問などの学習を行い、商品の魅力を組合員と共有しました。
(主な産地研修先：豊能町・高山真菜浅漬、和歌山県・一株トマト、淡路島・浅田さん家の玉ねぎ・兵庫県・播磨杜鰈)
- 商品・カタログ・配送や注文の仕組みなど、様々なことを学び、組合員対応力の向上や担当者自身のやりがいにつながる配送マイスター制度（資格認定制度）を23年1月度より、運用スタートさせました。 ※8ページのトピックスで紹介
- 新たに組合員の利用をサポートするエリアスタッフを配置しました。高齢組合員とインターネット注文の確認や、商品が届いた後の箱の保管方法など、生協を利用する上での困りごとをサポートしています。
- 毎月配布している「あなたの声を聴かせてください」カードを含め1,426枚の声カードが寄せられ、631名分の声が実現しました。

とりくんだこと



配送業務を活用して地域見守りと安心を一緒にお届けします

- 「配送でいつも対面できる高齢の組合員が不在」、「先週お届けした商品が受け取られていなかった」など、いつもの配送と違った場合に配送担当者が支所（責任者）へ連絡し、責任者より地域管轄部署（地域包括センター・警察など）へ連絡を行うなど、連携事例が増えています。（22年度累計32件）。

確かな品質の商品をお届けします。（安全推進活動）

- 引き続き、安心して商品をご利用いただくために、取扱い前の事前検査や共同購入（班・個配）で取り扱っている商品の抜き取り検査を実施しました。

2. 共済事業



COOP共済キャラクター
「コーすけ」

- 新型コロナウイルス感染症における療養について、多くの組合員に共済金をお支払いし、お役立ちができました。一方で、例年の倍近い共済金の支払いがあったことにより、毎年実施している割り戻しを行うことができませんでした。

全国の共済金のお支払い金額

| | 2020年 | 2021年 | (見込み数値) 2022年 |
|------------------------|-------|-------|------------------|
| ■ 新型コロナウイルス感染症に関するお支払い | 5億円 | 5億円 | 809億円 |
| ■ 上記以外のお支払い | 668億円 | 663億円 | 271億円 |

- 共済金請求忘れを防ぐために、毎月1週目に「おかわりありませんか？」チラシを封筒に入れて、誕生月の組合員に配布しています。今年は新型コロナ感染での入院給付ができるお知らせを案内したことで、請求申請が増加し、くらしの保障につながりました。
- WEBでの『生協・共済』の同時加入ができるようになりました。オンラインで手続きを簡略化することで保障開始期間の短縮にもつながりました。

※給付申請・ご利用者からのありがとうの声

わたしと子どもがコロナに感染した際に、同居家族が仕事を休み、他のきょうだいも学校や習い事も休まなくてはならず、大変な思いをしました。今回、coopたすけあい共済で皆さんに助けられました。ありがとうございました。今後は、わたしも誰かの役に立てるといいなと思います。

いつまでも自分らしく地域でくらすために

1. 夕食サポート事業



カロリーサポートコース

〈利用者アンケートからの改善事例〉

「ごぼうの甘辛炒め」のごぼうが固いという声があり、食感を保ちつつ固さを和らげるために、油あげを追加して一緒に食べることで、食べやすくなるように改善しました。

- 「糖尿病の疑いがあるため、塩分の低い商品を企画してほしい」などの声に応じて、「カロリーサポート」の企画を開始しました。
- 「ネットから注文できるようにしてほしい」などの声を受けて、ホームページから、ご注文の追加・キャンセル・数量変更・種類変更・利用再開ができるようになりました。

- 見守りサポート対応事例は52件あり、行政との連携事例が8件ありました。
- 利用者の声にこたえ、スポットお届けとして「紀州南高梅」「刀根早生柿」「西宇和みかん」「こころいちご（女峰）」などの季節に合わせた商品の取り扱いを行いました。



2. 福祉事業



- 吹田市社会福祉協議会・地域包括支援センター・地域福祉委員と連携し、介護フェアを3回開催し、のべ127名の方が参加しました。

3. サービス事業

- くらしサービス幹旋では昨年同様に新型コロナ禍の影響でマスク関連商品や学習教材の利用点数が伸長しました。コンサートやイベントなどのチケット手数料は、コンサート・野球チケット・相撲の企画等が通常に戻り、昨年より多くの利用がありました。
- 福祉整理・遺品整理では、組合員本人やその親族、夕食サポートの利用者、福祉利用者から、32件の利用があり、高齢者を中心に、暮らしやすさのお役に立つことができました。

知りたい、学びたいを大切に、誰もが参加できる活動をすすめます

より多くの人をつなげ、活動への継続的な参加を広げます



コープのひろばのようす

- 4年ぶりに新たに2件のコープ委員会が設立（高槻・吹田）。この間すすめてきた「やってみたいを形にしよう（一人からでもとりくめる）」「おしゃべり交流会」などの参加者から、コープ委員会に関心を持った対象者が増え、新たなコープ委員会設立につながりました。
- コープ委員会によるコープのひろば、専門委員会による企画（スマイルサロンなど）が活発に開催されるようになりました。また、3年ぶりにバスツアー企画も開催され、少人数ではありますが商品の学習・生産者の想いに触れる機会になりました。
- 茨木市の上音羽営農組合と連携し茨木北部の休耕田を活用して5月の田植え体験、10月に稲刈り体験を実施しました。
※9ページのトピックスで紹介

ありたい社会・地域づくりへの想いを広め、協同をすすめます

豊かな社会、地域づくりの一翼を担います



恒例ピースキャンドルナイト
11月25日

平和のとりくみ

- 2022年は沖縄本土復帰50年となり、6月23日慰霊の日に合わせての沖縄の戦跡視察やコープおきなわ主催の平和のとりくみに参加しました。 ※9ページのトピックスで紹介
- 11月、せんちゅうバルで恒例のピースキャンドルナイトを開催しました。センチュリー交響楽団のトロンボーン四重奏も参加し、会場を盛り上げました。キャンドルのデザインには、デイジー（花言葉は希望や平和）を表現しました。
- 5月～8月に「日本政府に核兵器禁止条約への署名・批准を求める署名」に取り組み、2,711筆が集まりました。
- ロシアのウクライナ侵攻であらためて平和の大切さについて学び考える学習会も開催しました。
- 2023年1月13日、国連世界食糧計画WFP協会への募金贈呈と報告会を実施しました。

とりくんだこと



くらしの助け合いの会『ほのぼの』

●会員どうしの交流の場として、9・12・3月に交流会を開催し、活動状況などの交流を行いました。

広報

- 2020年9月にスタートしたInstagramは、2021年2月のバレンタインキャンペーンで300以上のフォロワーが増え、2022年度末には1,495人のフォロワー数となっています。
- 機関紙8月号より、カラー冊子化によりページ数を増やし、商品情報や地域で活動する諸団体の紹介等、より多くのとりくみについて情報発信しました。

他団体とのとりくみ

- 豊中市以外の12の社会福祉協議会との懇談が終了し、各社協の課題から連携できることを検討します。
- 総代・職員を中心に女性のコミュニティスペースへの寄贈協力を呼びかけ、ドーン財団への就活用衣類・オムツ等の寄贈を行いました。 ※9ページのトピックスで紹介

募金活動他

| 募金名 | 参加人数・合計金額 | 送り先と使途 |
|---------------------|--|---|
| 2022年度 東北支援募金 | 2022年3月 人数：268人 金額：14万6,100円 | 避難者が多数いる福島県や、今までボランティアでお世話になった岩手県の団体を支援するために使用します。 |
| ウクライナ支援募金 | 2022年3月～2023年3月 人数：16,361人 金額：1,469万4,100円 | 国際連合世界食糧計画WFP協会（国連WFP協会）を通じて、現地の食糧支援として使用されます。 |
| 平和募金 | 2022年3月 人数：1,601人 金額：67万7,100円 | よどがわ市民生協がとりくむ平和企画に使用します。 |
| ユニセフ募金 | 2022年11月～12月 人数：937人 金額：63万4,900円 | ユニセフを通じて、ミャンマーの子どもと女性支援のために活用されます。 |
| トルコ・シリア 大地震緊急募金 | 2022年3月 人数：5,481人 総額：372万1,900円 | 国際連合世界食糧計画WFP協会（国連WFP協会）を通じて、現地の被災者に対する食糧支援に使用します。 |
| 書き損じハガキ 回収キャンペーン | 2022年1月9日～5月末 人数：1,168人 総額：192万174円 | ハンガー・フリー・ワールド（特定非営利活動法人）を通じて、バングラデシュ・ウガンダ・ブルキナファソ・ベナンなどで、教育事業や啓発、青少年育成に役立てられます。 |



トピックス



ウクライナ支援募金贈呈式

2023年1月13日、国連世界食糧計画WFP協会への募金贈呈と報告会を実施しました。よどがわ市民生協からは組合員理事を含む役職員8人が参加しました。

国連WFP協会では、戦禍の厳しいウクライナ東部地域には食料の現物支給、西部では、お店等営業している地域もあるため食料引換券等を支援しています。現在、ウクライナに200名を超える国連WFP協会スタッフが、日々安全確保に努めながら支援活動を行っています。避難を余儀なくされている多くの市民の方々へ、少しでも力になればと、よどがわ市民生協では募金活動を継続してきました。引き続き関心を寄せていただき、支援を続けていきたいとの報告を受けました。





持続可能で発展し続ける生協をめざして、将来に備えます

自然災害や環境問題に対し持続可能な事業活動を



- 社会福祉法人 吹田市社会福祉協議会と『災害時における災害ボランティア活動支援に関する協定』の締結を行いました。

- 組合員への「食品ロス削減のとりくみ」チラシ配布、内部資料のペーパーレス促進、働く人への「環境問題に関するアンケート」を実施しました。

- BCP（事業継続計画）推進委員会、新型コロナウイルス感染症対策委員会を定期的に開催し、災害や感染症などのリスクについての議論をすすめました。9月には、防災訓練を実施。全拠点でAED訓練を開催、約80名が参加しました。

- 現在、配送センターの第1支所に設置している食品廃棄物量削減のための「生ごみ処理機」を年度末までに、第3支所と第5支所にも導入しました。



AED訓練の様子

微生物の力により、約30kgの食品ゴミが24時間で水分と空気に分解されます。

〈第1支所の生ごみ処理機〉



働きやすく、やりがいを感じられる職場づくりをめざして



空調服

- 猛暑による疲労、熱中症から配送担当者の健康を守り、配送担当者が元気に働き続ける環境づくりのために、今年度も、お盆週の配送を1週間休業しました。提携委託先も含めた、よどがわ生協で働く人の労働環境を改善することで、更なる配送品質の向上につなげます。

- 熱中症予防については、注意喚起と併せて、飲料や熱中飴タブレットの支給、空調服の着用などを行いました。配送時のマスク着用ルールについてのお知らせを組合員に配布、周知しました。

- 安全運転研修の実施、安全運転実践のための手順書として「安全運転ハンドブック」を作成しました。・安全運転推進、事故防止のために、職員用トラックに、コーナセンサーを設置しました。

トビックス



配送マイスター制度

「知識がないまま配送を行うのはとても不安です。学ぶことで一定の知識・スキルを得て、自信を持って配送を行うために制度を導入しました。よどがわ市民生協について学び、好感の持てる配送・会話をめざすための制度です。個性あふれる名札にもご注目ください」

朝、事務所で問題を出し合ったりして、楽しみながら覚えていきます(^^)



自分の知識も増えるし、参考書のことをチームメンバーにも伝えることで成長につながります。裏面の趣味「旅行」で組合員さんとも話がもりあがります。



配送中の組合員さんからのお申し出や質問について、テキストを見ながら復習しました。1日10分程度、子どもの世話が終わってからテキストに向き合いましたが、意外と苦にならなかったです。



とりくんだこと

トビックス



ドーン財団への寄付

2022年度年度末総代懇談会にて総代のみなさんから持ち寄っていただいた物品（シングルマザーへの寄付）96点をドーン財団へお届けしました。また、大阪府生協連を通じてドーン財団より新たに協力要請のあった子ども用紙オムツ（60袋）も、同時に届けました。

ドーン財団（大阪府男女共同参画推進財団）では、不安に思うこと、困っていること等、悩める女性を支援するため「女性のためのコミュニティスペース」を開設し、必要な方には、就職面接スーツ等の衣類、靴、鞆、小物等が提供されています。



トビックス



沖縄視察

2022年は、沖縄本土復帰から50年になります。沖縄戦は太平洋戦争末期、日本の本土を攻略するための基地拠点を確保しようとする連合軍と「本土決戦までの時間稼ぎ」を目的とした日本軍の一般市民を巻き込んだ最大規模の地上戦でした。この沖縄戦では20万人の方がなくなっています。

今回、6月23日の慰霊の日に合わせて役職員4人で、現地視察に行ってきました。



今も残る「陣地壕」なども案内していただき、慰霊の日にはコープあきなわの実行委員会が主催している「ファミリーピースウォーク」に参加しました。



トビックス



農業体験

新型コロナ禍で開催中止となっていた「田植え・稲刈り」体験の再開を望む生協（組合員）とできるだけ休耕田を減らしたい茨木市上音羽宮農組合のみなさんの思いが重なり、農業体験を実施することができました。

農業体験を通じて、今の日本の農業を知るきっかけにもなり、子どもたちは初めて足を入れる田んぼの感触にさまざまな感想を持ちました。



自然の中で親子でのふれあいをはじめ、「食」についても考える機会となりました！





エコアクション21 認証・登録



環境省

エコアクション21
認証番号0008727

① 認証・登録の対象組織と活動

登録組織名 大阪よどがわ市民生活協同組合

本部・第1支所・第2支所・第3支所・第5支所・第5別棟・日の出駐車場

活動 食品を中心とした生活基礎商品の宅配による供給事業
共済・福祉・各種サービス事業

実施体制図

代表者・理事長

環境管理責任者

環境問題連絡会議

本部各部署

事務局

内部監査チーム

各支所

② 主な環境負荷の実績

| 項目 | 単位 | 2020年 基準年 | 2022年 | 2021年 |
|-----------------------------|-------------------|-----------|-------|-------|
| 二酸化炭素総排出量 | t-CO ₂ | 967.3 | 904.1 | 923.7 |
| 供給高 | 億円 | 163.0 | 153.4 | 157.6 |
| 原単位(※) CO ₂ ÷供給高 | t/億円 | 5.9 | 5.9 | 5.9 |
| 廃棄物排出量 | t | 989.9 | 998.0 | 992.2 |
| 内訳 | 一般廃棄物再資源化量 | t | 978.2 | 986.6 |
| | 一般廃棄物焼却量 | t | 9.7 | 11.4 |
| | 産業廃棄物排出量 | t | 2.0 | 1.6 |
| 食品再資源化実施率 | % | 65% | 72% | 73% |
| 総排水量 | m ³ | 2,140 | 2,302 | 2,354 |

※二酸化炭素総排出量には「都市ガス」の二酸化炭素排出量も含まれます。

※原単位：二酸化炭素排出量に係る供給金額の割合を算る。削減数値の目安になります。

※一般廃棄物再資源化量とは、「段ボール」「回収したカタログ」「コピー用紙などの廃紙」のリサイクルに出した量です。



環境経営目標・実績



電力の二酸化炭素排出量は、2022年の二酸化炭素排出係数(0.299)で算出・評価しています。

| 項目 | 年度 | 2020年 基準年度 | 2022年 | | 2023年 目標 | 2024年 目標 |
|--------------------------|-----------------------------|---------------|-----------------|---------------------------|-----------------|-----------------|
| | | | 目標 | 実績 | | |
| 電力の 二酸化炭素排出量 | t-CO ₂ (基準年比) | 275.0 | 269 (98%) | 268.6 (98%) 達成! | 55.0 (20%) | 52.2 (19%) |
| 自動車燃料の 二酸化炭素排出量 | t-CO ₂ (基準年比) | 691.8 | 643.4 (93%) | 635.3 (92%) 達成! | 629.5 (91%) | 622.6 (90%) |
| 上記二酸化炭素 排出量合計 | t-CO ₂ | 966.8 | 912.9 (94%) | 903.9 (93%) 達成! | 684.5 (71%) | 674.8 (70%) |
| 一般廃棄物量 (実際にごみ収集されたもの) | t (基準年比) | 9.7 | 10.8 (111%) | 11.4 (118%) | 10.7 (110%) | 10.6 (109%) |
| 食品廃棄物 再資源化実施率 | % | 65% | 50% 達成! | 72% | 51% | 52% |
| 水道使用量 | m ³ (基準年比) | 2,140 | 2,140 (100%) | 2,302 (108%) | 2,140 (100%) | 2,140 (100%) |

電力と自動車燃料の
二酸化炭素排出量



■ 自動車燃料
■ 電力

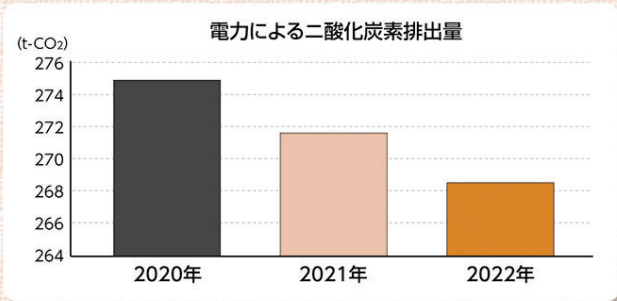


とりくみ結果とその評価、次年度に向けて



電力による二酸化炭素排出量の削減

目標(基準年度2020年の98%)を達成することができました。



達成の要因

- 各支所の副支所長が参加して環境内部監査を実施しました。他の部署や施設を巡回しながら、節電方法や紙の使用量削減についてお互いに学び合い、参加者の意識向上につながりました。また、全ての施設で冷暖房温度管理を実施した結果、年間目標を達成することができました。
- 今年度も労働環境改善のため、お盆週に配送業務を休業したことで、8月の電気使用量を大幅に削減することができました。

次年度に向けて 2023年度目標:2020年度の20%

①再生可能エネルギー由来の電力導入

再生可能エネルギーを使用することで、二酸化炭素排出係数が0.000となる電力への切り替えを行います。これにより、2022年度の電力使用による二酸化炭素排出量268,589kgの85%にあたる228,301kgの削減が見込まれます。対象施設は、本部・第1支所、第2支所、第3支所、第5支所の4箇所となります。



②電気使用量の見える化

「スマートクック」を活用して電気の使用状況を把握し、冷暖房温度設定を最適化することで、急激な使用量上昇を抑え、電気使用量の削減を継続します。これにより、省エネ効果の向上を図り、環境負荷の軽減をすすめます。

【第3支所 太陽光発電】

2015年10月から稼動した第3支所(豊中市)には太陽光発電(最大出力50kWh)を設置し、全量売電を行っています。

【第3支所太陽光発電量】

| 第3支所太陽光発電 | 2020年度 | 2021年度 | 2022年度 |
|-----------|--------|--------|--------|
| 発電量(kwh) | 53,500 | 52,422 | 54,862 |



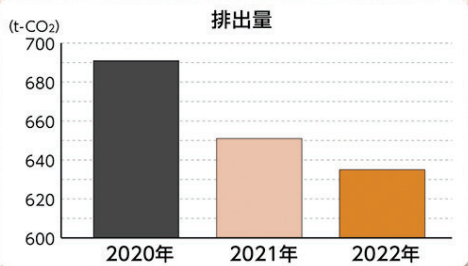


とりくみ結果とその評価、次年度に向けて



自動車燃料による二酸化炭素排出量の削減

目標(基準年度2020年の93%)を達成することができました。



| 年度 | 2020年度 | 2021年度 | 2022年度 |
|-------------------|--------|--------|--------|
| t-CO ₂ | 691.8 | 651.8 | 635.2 |



達成の要因

①営業推進グループ再編

4月から営業推進グループを再編し、業務の効率改善がすすみました。その結果、同グループの年間の給油量が前年度比で70%に減少しました。

| 年度 | 2021年度 | 2022年度 | 前年度差 | 前年度比 |
|-------|--------|--------|--------|------|
| 給油量 ℓ | 21,274 | 14,831 | ▲6,443 | 70% |

②8月のお盆休み

お盆週に配送業務を休業したことで、車両の使用を控えることができ、大幅な削減が実現しました。

③配送トラックの入替

提携委託先の配送トラックを、二酸化炭素排出係数の低い車両に入れ替えました。排出係数が3.00であったLPガス車から、2.58の軽油車や2.32のガソリン車に切り替えました。

次年度に向けて 2023年度目標：2020年度の92%

配送コースの見直しを行い、配送効率向上をすすめます。

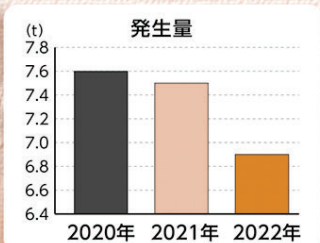
【車両台数内訳】

| | 2020年度 | 2021年度 | 2022年度 |
|------|--------|--------|--------|
| 生協車両 | 86台 | 86台 | 83台 |
| 委託車両 | 153台 | 158台 | 178台 |
| 合計 | 239台 | 244台 | 261台 |



食品廃棄物再資源化実施率の内訳

発生量は前年より0.6tの削減がすすみました。



| | 単位 | 2020年度 | 2021年度 | 2022年度 |
|---------|----|--------|--------|--------|
| 発生量 | t | 7.6 | 7.5 | 6.9 |
| 発生抑制量 | t | 3.8 | 3.1 | 3.5 |
| 再生利用量 | t | 0 | 0 | 0 |
| 減少量 | t | 3.6 | 4.6 | 3.9 |
| 廃棄処分量 | t | 4.0 | 2.9 | 3.0 |
| 再資源化実施率 | % | 65 | 73 | 72 |

※「発生量」…「減少量」+「廃棄処分量」

※「発生抑制量」…発注管理、在庫管理などによる廃棄物の削減量

※「減少量」…フードバンクや子ども食堂への提供分と、生ごみ処理機で処理をした合計

※「廃棄処分量」…実際にゴミ収集に出した廃棄量

※「再資源化実施率」…(「発生抑制量」+「再生利用量」+「減少量」)÷(「発生量」+「発生抑制量」)



一般廃棄物の削減

返品商品の廃棄により目標を超過しましたが、次年度は2023年3月に第3支所と第5支所に導入した生ゴミ処理機の活用で、一般廃棄物量を削減できる見通しです。また、ゴミの分別をすすめ、紙ゴミの削減を行います。



食品廃棄物の再資源化率の向上

フードバンクや子ども食堂への提供数が増加し、目標値を大幅に上回る結果となりました。次年度も、「食品ロス」に関するチラシを定期的に発行し、組合員と協力してとりくみます。



節水

支所内でトラックの接触事故による漏水が発生し、目標を超える結果となりました。次年度も2020年の実績を目標としてとりくみます。



環境へ配慮した商品の普及

エシカル消費の需要が高まったため、掲載品目数は209.5%、利用点数は193.2%に増加しました。次年度も多くの組合員に利用してもらえるように、わかりやすい紙面提供をすすめます。



業務の特徴をいかした社会貢献

各行政区の社会福祉協議会との懇談が増え、相互協力の関係が築かれた1年でした。来年度も、協力できることを探りながら、地域貢献をすすめます。



リサイクル回収実績

配送時に回収し、リサイクルするもの

「牛乳パック」「卵パック」「カタログや商品を入れている袋」「商品案内カタログ」

それぞれの回収率とリサイクルされるもの

牛乳パック

回収率 **35%**



トイレトーパー

卵パック

回収率 **31%**



卵パック

カタログや商品を入れている袋

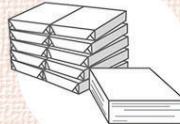
回収率 **21%**



プラスチック製品

商品案内カタログ

回収率 **66%**



コピー用紙など

商品案内カタログの回収状況

| 年度 | 配布重量 | 回収重量 | 回収率 |
|--------|-------------|-----------|-----|
| 2020年度 | 1,561,820kg | 952,350kg | 61% |
| 2021年度 | 1,448,349kg | 958,370kg | 66% |
| 2022年度 | 1,421,118kg | 943,550kg | 66% |



カタログ選択制の普及がすすみ、配布重量は、前年より27,231kg減少しました。回収重量も前年を下回りましたが、回収率は66%と前年と同ポイントでした。



環境関連法規等の遵守状況

法的義務を受ける主な環境関連法規等は次の通りです

| | |
|------------|---------------------------------|
| 適用される法規 | 適用される事項(施設・物質・事業活動) |
| 廃棄物処理法 | 一般廃棄物、産業廃棄物(金属類、廃プラスチック類、廃ガラス等) |
| 消防法 | 避難訓練、消防設備点検 |
| 改正食品衛生法 | 一般衛生管理(HACCPに沿った衛生管理の実施) |
| 食品リサイクル法 | 食品廃棄物 |
| 食品ロス削減推進法 | 受注・発注・在庫管理 |
| 包装容器リサイクル法 | 包装容器 |
| フロン排出抑制法 | 冷凍庫、冷蔵庫、空調機 |
| 資源有効活用促進法 | 営業用乗用車、トラック、パソコン |
| 顧客要求事項 | お届けする商品と顧客サービスの満足度向上 |

食品廃棄物の再資源化実施率は目標値50%に対して、72%と超過達成しました。



代表者による全体の評価と見直し

- 電力による二酸化炭素排出量の削減は、節電意識を高める啓発を強め、事務所空調温度調節などをすすめたことにより目標が達成できました。23年度は電気購入先をさらに二酸化炭素排出係数の少ない事業者へ変更します。
- 自動車燃料による二酸化炭素排出量の削減は、8月の配送1週休み、事業効率の削減、排出係数の少ないトラックへの入れ替えなどにより目標を達成することができました。
- 一般廃棄物量の削減は、食品廃棄ロス削減のとりくみが十分進まず目標を達成することができませんでした。23年度はあらたに第3支所と第5支所に生ごみ処理機を導入し削減をすすめます。また子ども食堂やフードバンクとのつながりを増やし食品の有効活用をすすめます。
- エシカル消費への認識がひろがり、カタログ掲載品目数は209.5%、利用点数は193.2%に増加しました。23年度もわかりやすい紙面を提供し、多くの組合員に利用してもらえるように取り組みます。
- 理事・職員による「環境政策委員会」で起案した「2030年におけたよどがわの環境政策」を決めました。23年度は具体的な実践をすすめます。各事業所では、「環境経営」の視点で職場内や組合員とも協力してお盆の休み取得、時間外業務の削減や働きやすい職場づくりにとりくみました。組合員は実際に集まる活動に加えオンラインでの活動をすすめました。地域の社会福祉協議会とは災害ボランティア協定締結などの連携をすすめました。これからも「SDGs」「環境経営」の考え方の共有をすすめ、より多くの職員・配送担当者と組合員の参加をすすめます。

SDGs【持続可能な開発目標】とは？

日本の生協は「自立した市民の協力の力で人間らしい暮らしの創造と持続可能な社会の実現」を理念として掲げています。この理念は国連がめざす、誰ひとり取り残さない、持続可能な社会の実現と共通するものです。SDGs(エスディー・ジーズ:Sustainable Development Goals)は、2015年9月の国際サミットで「今、全世界が取り組むべき課題」として採択され、世界中の国や人々が、世界で直面している様々な課題、貧困や飢餓、気候変動や環境問題などについて、協力して2030年までに解決を目指していこうというゴールの目標です。

SDGsは、生協のめざす理念や生協がこれまで取組んできた活動と重なっていることから、日本生活協同組合連合会では、2018年「**コープSDGs行動宣言**」を採択し、SDGs実現のための取組みをおこなっています。よどがわ生協が目指す「笑顔ひろがる豊な暮らし」の実現のための活動や事業もSDGsの目標と共通しています。

これからも、一人ひとりが自分にできることから行動し、協力の力で「笑顔ひろがる豊な暮らし」を目指しましょう。

【SDGs の17の目標とロゴマーク】

(資料では、SDGsに関わる事業やとりにくみには、関連する目標のロゴマークを表示しています。)



- | | | |
|-----------------------|------------------------|--------------------|
| 1. 貧困をなくそう | 2. 飢餓をゼロに | 3. すべての人に健康と福祉を |
| 4. 質の高い教育をみんなに | 5. ジェンダー平等を実現しよう | 6. 安全な水とトイレを世界中に |
| 7. エネルギーをみんなにそしてクリーンに | 8. 働きがいも経済成長も | 9. 産業と技術革新の基盤をつくろう |
| 10. 人や国の不平等をなくそう | 11. 住み続けられるまちづくりを | 12. つくる責任 つかう責任 |
| 13. 気候変動に具体的な対策を | 14. 海の豊かさを守ろう | 15. 陸の豊かさを守ろう |
| 16. 平和と公正をすべての人に | 17. パートナースHIPで目標を達成しよう | |



ベジタブルインキで印刷しました

大阪よどがわ市民生活協同組合

〒564-0015 大阪府吹田市幸町4-1 TEL 06-6381-0329